

光壽無量  
慶賀新年

2003(平成15)年 元旦

夢  
夢を持つんだね  
夢で終わっても  
いいじゃないか  
人生それだけで  
豊かになる  
でも、私の夢は  
阿弥陀さまの  
大きな夢の中に  
生かされている  
南無阿彌陀佛



1月の行事

元旦法要

一月一日 午後二時

どんな時でも貴方  
一人じゃないんだよ  
私がどんな状況に  
なろうと  
私をそのまま  
抱きとって下さる  
阿弥陀さまが  
いてくださいます



○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時  
○婦人の集い(新年会)  
1月7日(火) 午前11時

○仏教講座会

1月20日(月) 午後1時半

講師 本願寺布教使

山田 義俊 師

○千葉組総代・連研履修者

研修会 1月23日(木)

我孫子・真栄寺にて

○ヨーガ教室 1月15日(水)

29日(水) 各、午後12時半

2月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時

○婦人の集い 2月10日(月)

○仏教講座会 2月20日(木)

めでたきこと

お正月になると出会う人出会う人「あけまして おめでとうございます。今年もどうぞ宜しく・・・」と挨拶することでありませう。

一休さんは

元旦や冥土の旅の一里塚

めでたくもあり

めでたくもなし

と詠まれた。ある少年は

みんな、めでたい、めでたいといっているが、何がめでたいのか、どこがめでた

いのか、山も川も、いつも

と同じやないか、何もかも、

きのうのつづきではないか。

どこがめでたいのか。

と言っていた。

人間は一日・一ヶ月・一年・二

十世紀から二十一世紀へと変

わらぬ月日の中に区切りを以

て新たな気持ちで生きてきた。

昔は正月に年をとり、そん

な新たな区切りを「あけまし

て おめでとう」と、新年を

迎える喜びを挨拶の言葉して

きたのだろうか・・・

こんなことを考えていると、

山も川も空気も・・・昨日から今日へと変わらなづく限りな  
い時の流れの中で、無量の命  
の世界に生かされ今、生きて  
いる不思議さ、有り難さを想  
う。

ちなみに宗祖・親鸞聖人は  
お手紙等の中で、「めでたき」  
ことを仏法の弘まること、お  
念仏に出遇うこと、自身が阿  
弥陀さまに救われたこと、往  
生浄土の素懐を遂げること：  
を「めでたきこと」と言われ  
る。深く味わいたいものであ  
ります。

合掌

天真寺 住職 西原 恵照

坊守 西原 悦子

前任職 西原 正念

前坊守 西原 敏子

衆徒 西原 静香

衆徒 西原 竜哉

衆徒 山口 武典

衆徒 大枝 義一

総代 篠原 英夫

総代 松川 正

総代 加賀屋達雄

天真寺門信徒会長 大枝 義一

天真寺仏教婦人会長 西原 悦子

今年も宜しく  
お願い申し上げます。

●今月のことば

じゅうじゅうむじん  
重々無尽

寒い日が続いています  
が、この寒さの中に咲く  
花は、太陽や雨や大地な  
どから無限の恵みを受け  
て咲いている。気づかな  
い、見えない恵みを受け  
て・・・「本物と偽物とは、  
目に見えない所のあり方  
でわかる。偽物は目に見  
える所だけを大切にしてい  
て、益々偽物になっていく」  
本物になりたいな!



雪降りしきる御正忌報恩講 (西本願寺)

2月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
- 千葉組連研 (柏・正満寺)
- 2月9日 (日) 3時〜6時
- 婦人の集い
- 2月10日 (月) 午後1時半
- 仏教講座会
- 2月20日 (木) 午後1時半
- 講師 本願寺布教使  
藤本唯信師 (山口県)
- ※やさしい口調で解りやすい話
- ヨーガ教室 2月12日 (水)
- 26日 (水) 各、午後12時半

3月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時
- 教区仏婦研修会 3月1日 (土)
- 婦人の集い 3月10日 (月)
- 春の彼岸法要 3月21日 (金)
- 講師 本願寺人吉別院輪番  
武田智憲師
- 無量壽に  
いのちをまかせし  
わがいのち  
あるがままにぞ  
尊とかりけり

釋惠照

仏教講座会皆勤賞

昨年12月20日仏教講座会に  
おいて皆勤賞・精勤賞の表彰  
があり左記の方々が記念品を  
授与されました。(敬称略)

また、仏教講座会終了後懇  
親会が開催され、皆さんと共  
にピンゴゲーム等で楽しい時  
を過ごさせて頂きました。

〈皆勤賞〉

鈴木いとゑ・大枝義一・岡  
本晴子・石川千代子・松井  
悦子 (以上5名)

〈精勤賞〉

栗野多寿子・清水澄子・対  
馬隆三郎・対馬千代・笹木  
昌幸・詫摩三郎・上島保子  
河野悦子・木内元恵・小林  
繁夫・上村三代子  
(以上十一名)

どなたか使って下さい

差し上げます(無料)

お体の不自由な方に無料で差  
し上げます。但し  
取りに来られる方  
に限りです。

品名「セニアカー」

(免許不要)

連絡先 天真寺



東京国立博物館

「西本願寺展」

御影堂平成大修復事業記念

3月25日〜5月5日

本願寺御影堂大修復を記念し、  
平成15年3月25日から5月5日  
まで、東京国立博物館(台東区  
上野公園)で「西本願寺展」が  
開催される。

本願寺は、壮麗な近世寺院建  
築や障壁画をはじめとする絵画、  
書跡など貴重な文化財を数多く  
所蔵しており、平成六年には世  
界文化遺産に登録された。

同展は「飛雲閣と諸殿の障壁  
画」「親鸞聖人の肖像と筆跡」「名  
筆と唐物」「本願寺本三十六人家  
集」「御影堂の修復」など九テ  
ーマで構成される予定で本願寺蔵  
の法宝物は国宝、重要文化財の  
ほとんどが出品される予定。

また、左記の日時により記念  
講演会が行われる。

○4月5日「西本願寺の文化財」  
本願寺史料研究所長

千葉 乗隆 氏  
同博物館資料課長

○4月19日「本願寺三十六人家集」  
島谷 弘幸 氏

※詳細はインターネットで  
<http://www.nhk-p.co.jp/>



●今月のことば●

～法語カレンダーより

信仰は悩みの逃避ではない  
悩みの中に救いにみちびく  
九條武子

武子夫人は、明治二十年生、第二十一代宗主大谷光尊師の第二女で、仏教婦人会の成立に尽力された方です。結婚して築地本願寺内に居を定められ、関東大震災の後、被災者のために社会事業を展開されますが、その過労から四十一年の短い生涯を閉じられました。信仰とは、「奇蹟ではない。宗教はまた気やすめの、力なき慰めでもない。信仰は荷せられた悩みを逃避するのではなく、悩みの肯定のうちに、救いの光にみちびかれる」と語られています。



三月の行事

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時  
お近くの方、朝ご一緒に  
つとめいたしましょう。

●教区仏婦一日研修会

3月1日(土) 於築地本願寺

【講演】

【午前】外松多恵子師

(青少年問題カウンセラー)

【午後】大峯顕師

(浄土真宗本願寺)

教学研究所有長)

●婦人の集い

3月10日(月) 午後1時半

今月は犬とキューピーの小物作りを予定しています。持ち物はありませんので、どうぞ気軽に参加下さい。

●ヨーガ教室

3月12/26日(水) 各12時半

四月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時

○婦人の集い 4月10日(木)

○仏教講座会 4月20日(日)

春の彼岸法要

●日時

3月21日

春分の日(金)

●時間

1時半より

●ご講師

本願寺

人吉別院輪番

武田智憲師

(熊本県)

日本では、春分と秋分の日を中心にお彼岸会をつとめます。寒さ暑さの間であって、法会を営むに適した時期であるからでしょう。どうぞお出かけしやすい春の一日、お寺にいらつしやいませんか。多くの方のお参りをお待ちしています。



★可愛いおひな様★

御門徒の木内元恵

さんが、お寺におひな様を持つてきて下さいました。なんと！これはお寺で配っているマツチ箱の生地を使って作られたものです。可愛いですね♪



活動報告

〓千葉北ブロック総代研修会  
1月23日我孫子真栄寺で行われ、天真寺からは大枝総代が出席、「葬儀のあり方」―南無阿弥陀仏のころ―について講義、その後法名・仏事・位牌などについて意見が出され、話し合いが持たれました。

東京博物館(上野公園)

「西本願寺展」

御影堂平成大修復事業記念

3月25日～5月5日

<http://www.nhk-p.co.jp/>

# 天真寺門信徒会だより

2003  
H15年  
4月  
Vol. 314

## ●今月のことば●

～法語カレンダーより

遠くなった耳が世音の中に

仏さまの声を ふときかせていただく  
榎本栄一

今月の言葉は、東本願寺難波別院から発行された詩集『煩惱林』の中にあります。

榎本栄一さんは、常に仏法に親しみ、折にふれ、生活の中で仏法を味わってこられました。世間の音が聞こえにくくなった分、仏さまの声が聞こえる……おかげさまのころ、聴聞の大切さを教えてくださいます。

自分を絶対とし、完璧としてとらえている限り、見えてこない、聞こえてこない、味わえない、伝わってこない。そんなことを教えていただける詩です。



## 四月の行事

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時

『正信偈』和讃繰読み

お近くの方、朝ご一緒におつとめいたしましょう。

●仏教講座会

4月20日(日) 午後1時半

ご講師 七里順暲師

(草加布教所)

面白く分かりやすくお話し

さるまだ若い先生です。ど

うぞご聴聞下さい。

●婦人の集い

4月10日(木)

午前11時より婦人会総会を行います。尚、お昼はお寺で用意があります。

●ヨーガ教室

4月9/23日(水) 各12時半

●五月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時

○婦人の集い 5月10日(土)

○永代経法要 5月18日(日)

午前門信徒会総会・午後法要

いよいよ「西本願寺展」

始まる!

●「鏡御影」必見! ●

3月25日～5月5日まで上野の東京国立博物館で御影堂平成大修復事業記念「西本願寺展」が行われます。どうぞお花見がてらお出かけ下さい。

またお寺に前売り券の用意があります。これは本願寺専用の特別割引で、通常大人1,300円のところ900円となります。枚数に限りがありますので、ご希望の方は早めにお寺までご連絡下さい。

●西本願寺NHKテレビ番組

「西本願寺 白と黒の書院」

4月19日(土) 午後4時半

「西本願寺の名宝」

4月6日(日) 午後5時半

4月20日(日) 午後5時半

こちらもどうぞ御覧下さい。

## 活動報告

●出来上がり!

三月の婦人会活動でこんな可愛い犬とキューピールができました♪



●教区仏教婦人研修会出席

先月1日天真寺より11名参加を致しました。午前の部では外松太恵子師が「悩み時々晴れ」という講題のもと、青少年カウンセラーの先生ならではの話を、穏やかにお話し下さいました。午後からは仏教讃歌の練習の後、教学研究所所長大峯顕師により「浄土と娑婆」について伺いました。大変分かりやすいお話で、実り多い研修会となりました。

「お釈迦さまの教え」

●仏教のお話聞きませんか

5月18日(日) 永代経

では、東京大学名誉教授

・日本印度学仏教学会理

事長・武蔵野女子大学

(浄土真宗宗門校) 講師、

木村清隆師にお越しいた

だきます。曹洞宗(禅宗)

の寺院の先生です。

誰にでも分かりやすい、

仏教の基本のお話を

していただく予定です。

若い方もぜひ! 今から

ご予約下さいね。



●今月のことば●

～法語カレンダーより  
世間に抱く関心は

必ず自己中心の 善悪による 関心である  
信國のぶくにあつし 淳

今月の言葉は、信國淳師のご著書『いのちは誰のものか』の「花の決意」に出てくるお言葉です。阿弥陀さまの智慧の光に照らし出された私の姿は、人に対しても、ものに対しても自分の都合でしか見ておらず、しかも、見えているところだけで判断し、自分の都合で善し悪しを決めていた私であつたと気付かされます。しかし、阿弥陀さまの常に私を見護りつづけてくださるごころ、ありのままを認めてくださるごころに気付いたなら、恥ずかしいと思うごころと同時に、嬉しいというごころがわいてきます。善い私も、悪い私も全てを受け入れて行く勇気がわいてきます。

五月の行事

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時

『正信偈』和讃繰読み

お近くの方、朝ご一緒にひとつとめいたしましょう。

●門信徒会役員会

5月7日(水)

午後2時～4時以降懇親会

●婦人の集い

5月10日(土) 午後1時半

気軽なお茶会をいたします。

どうぞ皆さんで一服♪

●ヨーガ教室

5月14 / 28日(水)

各12時半

六月の行事

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時

●婦人の集い 6月10日(火)

アソカ園ボランティア

●みのり会研修会

6月27日(金) 築地本願寺

●仏教講座会

6月20日(金) 午後1時半

ご講師 田中誠証師(大分県)

永代経法要  
仏教講演会  
ご案内

とき 5月18日(日)

時間 午後1時より

ご講師 木村清孝師

東京大学名誉教授

日本印度学仏教学会理事長

武蔵野大学講師(宗門校)

講座

「お釈迦さまの教え」

ちよつと仏教のお話を聞いてみませんか。

わかりやすく、やさしく、

誰にでも分かる仏教のお話をしていたできます。

初めての方も、若い方もぜひ一度お参り下さい!

「永代経」って?

永代経とは、「永代読経」の略で「末永く(永代に)お経が読まれる」という意味です。そこから、お寺が護持され、そこで子や孫が代々にわたってみ教えを聞き慶ぶこと、これが「永代経」の心です。

こんな人あんな人①  
「舍利弗」

釈迦十大弟子の一人。『阿彌陀経』では何度も釈尊に呼びかけられていますね。わずか四行の詩句で真理を悟った智慧第一の仏弟子です。

その詩句とは……

諸法は因より生ずる

如来はその因を説きたまう

諸法の滅もまた

大沙門はかくの如く

説きたまう

たったこれだけの詩句で

「縁起の法」を理解したというから、驚きます!

釈尊は彼を後継者と考

えていたとも?しかし釈尊よ

り先立って世を去りました。

これに釈尊は「無常の

法はいかんともしがたし」と

言われたという。

★お知らせ★

永代経に先立ち、午前中には門信徒会総会が行われます。

役員の方は午前9時半、ご出席の方は午前10時半にお集まり下さい。

●今月の法語カレンダー●  
愚かさとは 深い知性と 謙虚さである  
平沢 興

今月の言葉は、師の著書『生きよう今日も喜んで』の中に出てきます。師は神経解剖学の世界的権威、そして偉大な教育者でありました。「学問も段々と研究していきますと、段々分かんというところが本当に分かつてきて、若い時は傲慢であった学者も、研究が進むと次第に素直になって頭を下げるようになります。」師の言葉です。愚者の自覚とは、物事を知れば知るほど我が身の愚を知らされ、愚かさを知れば知るほど謙虚さが伴う。凡人はなかなかそのように生きられません。しかしできることしたら、ただ一つ。「おかげさま、有り難う」の心でお念仏

六月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時 『正信偈』和讃繰読み
- 千葉組連研 6月8日(法善寺)
- 仏教講座会 6月20日(金) 午後1時半 講師 田中誠証師(大分県) お話もさることながら、手に鋸と金槌を持ってご自坊の本堂を造られたご住職です。



●婦人の集い 6月10日(火)

- 「アソカ園ボランティア」 10時半に武蔵野線新八柱駅改札口にご集合下さい。
- タオル・布等使います。ご寄付くださる方はお寺にお持ち下さい。
- みのり会北ブロック研修会 6月27日(金) 築地別院
- ヨーガ教室 6月11/25日(水) 各12時半

どうぞお寺の活動に多くご参加下さい!

七月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
- 婦人の集い 7月10日(木)
- 仏教講座会 7月20日(日) 午後1時半 講師 加戸利円師
- 千葉組総代・仏壮・連研履修者合同研修会 7月26日(土)

活動報告

★門信徒会総会・永代経法要  
先月18日、午前中には「門信徒会総会」が開催され、恒例議案と共に今年度は行事計画に一泊旅行が予算組みされ承認可決されました。(裏面参照)



午後からは「永代経法要」が賑々しく勤まり、講演会では東大名誉教授の木村先生に仏教の根本の教えをやさしくお話いただき、大変勉強になりました。

★お茶会いたしました♪

五月の婦人の集いでは、お茶会でおいしいお菓子とお抹茶をいただきました。新緑の一日、皆さんと楽しい時間を過ごしました。

こんな人あんな人②

「羅睺羅」(らうら)

お釈迦さまの一人息子。羅睺羅(ラーフラ)とは「障害」という意味。なんとも奇妙な名前ですね・・・? 出家を決意したお釈迦さまには、我が子の誕生が恩愛の情を断ち切る「障り」(ラーフラ)だったので。お釈迦さまは、その七日後に城を出られました。

後、お釈迦さまは弟子に依頼してこの一人息子を出家させました。やはりお釈迦さまは心配されたようです。しばしばお釈迦さまに叱りつけられたり、論されたりしておられます。

羅睺羅は次第に甘え心がなくなると、熱心に真面目に修行に励まれ、十大弟子の一人となり、皆から尊敬を受けるようになったということです。

しかし、お釈迦さまの子としての期待。大変なことだったのであります。



●今月の法語カレンダー●

人間は物を要求するが  
仏は物を見る眼を与えようとされる  
足利浄圓あしかがじょうえん

足利浄圓師は、早くにご両親（母二歳、父六歳）と別れられ、祖父であり高名な勧学（本願寺派最高の学階）でもある足利義上和上にお念仏に包まれた中で育まれ成長されました。  
師は「仏は物を見る眼を与えてくれる」と申されています。光なくして人間は物を見る事ができませんが、悲しいことに自分の都合、考えを中心にしてしか動くことはできません。  
人間は仏法の目に気づくことがない限り、深く温かい世界のはたらきがこの私にすでに届いてくださっていることに気づきません。仏法はすべてのものを見捨てず生かすようにはたります。だから仏法では光とは、仏様の智慧をあらわします。その仏様の智慧の光は、常に弱く悲しい者の上に、苦悩する者の心に添うように、いつもはたらいて下さいます。

七月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時  
一緒におつとめしましょう♪
- 仏教講座会

7月20日（日）午後1時半  
ご講師 加戸利円師（東京都）  
毎年おいでいただく先生です。面白く分かりやすくお話をさせていただきます。ぜひご聴聞を。

●婦人の集い

7月10日（木）午後1時半

●ヨーガ教室

7月9/23（水）各12時半

●千葉組総代・仏壯

連研履修者 合同研修会

7月26日（土）於・正満寺

八月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時  
○盂蘭盆会法要 8月16日（土）  
午後1時半より

ご講師 北畠晃融師

○婦人会はお休みです。  
（中央仏教学院院長）

どうぞお寺の

活動に多くご

参加下さい！



門信徒会・婦人会合同旅行決定！！

この度天真寺門信徒会・婦人会による山梨方面への一泊二日合同旅行が、役員の方々のご協力により計画されました。この機会に温泉でゆっくり皆さんとの親睦をはかり、楽しい旅行にいたしましょう♪多くの方々のご参加をお待ちしています！

◆日時 8月29日（金）・30日（土）一泊二日

◆行程 【一日目】富士吉田市内（参拝）・忍野八海（見）・石和温泉（泊）

【二日目】見晴し園（ぶどう狩り）・メルシャン勝沼ワイナリー（見）・笹一酒造（見・買）

◆参加費 ￥23,000

参加申し込みは、8/16（土）盂蘭盆会法要の日までとなります。参加希望の方はお寺にご連絡下さい。また行程詳細、申込書はお寺にあります。

活動報告

★アソカ園ボランティア

6月10日婦人会より12名で、アソカ園ボランティア活動に参加し、主にミシンかけ・使い捨て雑巾作りのお手伝いをして参りました。次回は10月14日です。次回も多くの皆様のご協力をお願い致します。

★るんびに苑完成！

大阪の前住職が「るんびに苑」を京都・綾部市に開園しました。この施設は、不登校や薬物依存、被害者などによる軽度の情緒障害を持つ子供のための支援施設です。天真寺婦人会では三年前から寄付を続けており、今後も活動を支援していきたいと思えます。



あなたの法語を  
カレンダー掲載

天真寺からも門信徒の皆さんにお配りしている「法語カレンダー」に掲載する法語を、約二十年ぶりに広く一般から公募します。

このカレンダーは真宗十派で作っており、日本最大の発行部数を誇ります。ぜひ皆さんもチャレンジを！字数は二十五字以内。応募の点数は不問。住所、氏名、年齢、性別、所属宗派を明記した郵便はがき一枚に一点が原則。送り先は

〒600-8501 京都市下京区堀川通

花屋町下ル

浄土真宗本願寺派宗務所内

真宗教団連合事務所宛まで。

●今月の法語カレンダー●

己れに願いはなくとも

願いをかけられた身だ

藤元 正樹

今月は大谷派藤元正樹師のことばです。師は社会問題に積極的に取り組まれ、浄土真宗が真に人間を解放する教えであることを生涯問われていかれた方であります。だから師のことばからは温かさや味わい深い心が伝わってきます。

「己に願いはなくとも」の願いとは、自分に仏法を求める心はない、自分自身仏になりたいという願いはないということです。しかしその私の心にも阿彌陀如来の願心が知らないうちにはたらいて願いを受けている身だといわれるのです。

「帰る場所を見失うと、人間は迷う。」こんな言葉があります。お浄土から喚びかけてくださっているお念仏がこの身に届くかぎり、方向を見失い迷うことなく帰っていけることでしょう。

八月の行事

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時  
一緒にとおつとめ致しますよう♪

●孟蘭盆会法要

8月16日(土) 午後1時半  
講師 北畠晃融師

(中央仏教学院長)

どうぞご聴聞ください。多くの方のお参りお待ちしております。

●ヨーガ教室

8月はお休みです。

●山梨一泊二日門信徒会旅行  
8月29(金) / 30(土)

九月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時

○秋季彼岸会 午後1時半

9月23日(火) 秋分の日

講師 松林宗恵師 (映画監督)

○みのり会一日研修会

9月9日(火) 千葉教育会館

講師 種村健二郎師 (医師)

○千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

9月18日(木)

たくさんのお参り  
お待ちしております!  
す!



孟蘭盆会法要

ご案内

日時 8月16日(土)  
時間 午後1時半より  
講師 北畠晃融師  
(中央仏教学院長)

お盆って?

お盆とは、仏弟子の目連尊者が餓鬼道に墜ちた亡き母を救おうとして、その母に食物を与えたのですが救われず、お釈迦さまの導きで衆僧に供養して初めて救われた(その日が七月十五日)という故事から起こった行事です。

すなわち、亡き母や特定の先祖に供物を捧げるといいうのでなく、自らが深く仏法に帰依して、限りなき仏さまのおはたらきを仰いでゆくということでしょう。

言い換えれば、ご先祖の恩に報いる道は私自身がお念仏を慶ぶ身となることです。ご先祖への報恩の思いから仏法を聞かせていただき、阿彌陀如来のお力によって救われていく身の幸せを慶ぶのがお盆です。

お誘いコーナー

〈門徒会、婦人会合同旅行〉

◆8月29(金) / 30(土)

【一日目】富士吉田市内参拝

忍野八海・石和温泉泊

【二日目】見晴し園(ぶどう狩り)・メルシャン勝沼ワイナリー

リ---笹一酒造

◆参加費 一万二千元

参加者募集中です。8/16お盆

法要までにお申し込み下さい。

皆さんで楽しい旅行に致しますよう♪

〈千葉組念仏奉仕団〉

京都・滋賀・真宗十派本山を訪ねて

「木辺派本山・錦織寺と

近江商人のふるさとめぐり」

◆10月27(月) / 29(水)

◆参加費 六万一千円

参加希望の方は、八月中にお寺

にご連絡ください。(申込書同封)

活動報告

★千葉組門徒総代・壮年・

連研履修者合同研修会出席

天真寺から住職・大枝会長をはじめ

8名が出席、東京教区相談員・宮

本義宣師によって「今日における念

仏者の役割」をテーマにお話を伺い

ました。